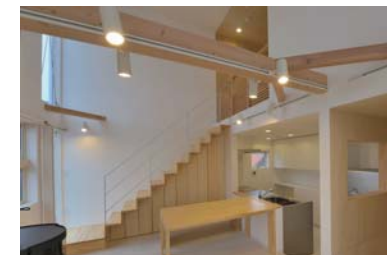
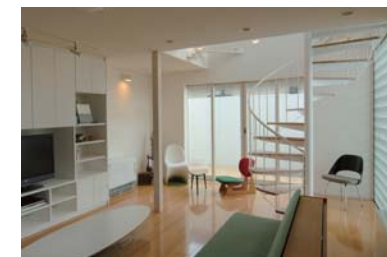


お知らせは特にありませんので、その他の特徴的な階段もご紹介します。



「St-House」の階段。下部は扉付の収納として利用しています。木質の素材として全体をコーディネートします。



「Ks-House」のらせん階段。インテリアの一部としてリビングに無くしてはならない構成要素の一つです。



ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
仙台オフィス  
TEL：022-739-8931 FAX：022-739-8932  
秋田オフィス  
TEL：018-831-4315 FAX：018-831-4316  
HP：http://www.issei-design.com/  
Blog：http://www.issei-design.com/blog/  
Mail：info@issei-design.com



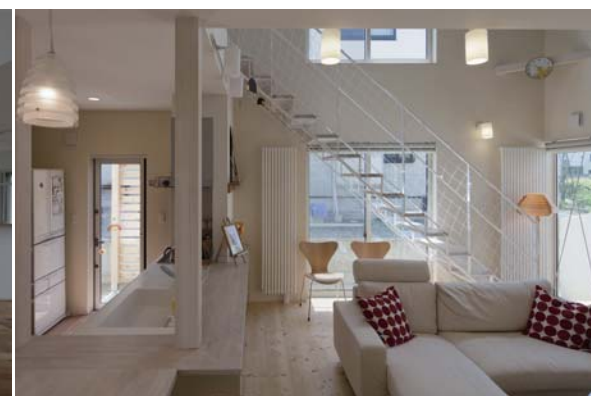
さらに階段ついでに・・・  
今週、宮城県大河原町で完成した住宅。木製のストレート階段。階段手摺や吹抜けの手摺も木製です。何度設計しても階段は難しいです、位置や形状や・・・



「霊屋下のスキップ」の木製の力桁階段。スキップフロアで、東西方向に半階ずつ昇降します。手摺はFB スチール製ですが、木質系のインテリアともよくマッチしています。



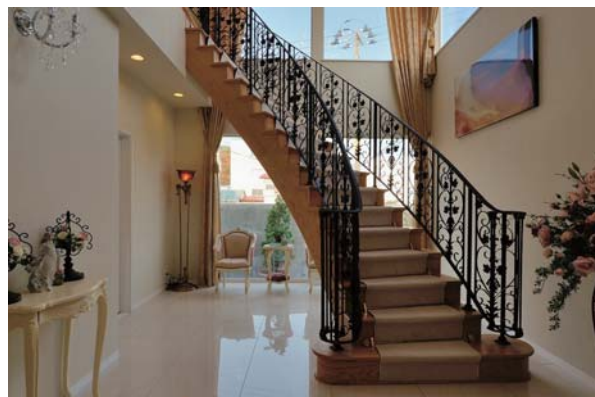
「宮城野の現代和風」のスチール階段。リビングに開放された折れ曲り階段です。全体を和風としてまとめ、家具や建具のインテリアに合わせてダーク・ブラウンの塗装を施しました。



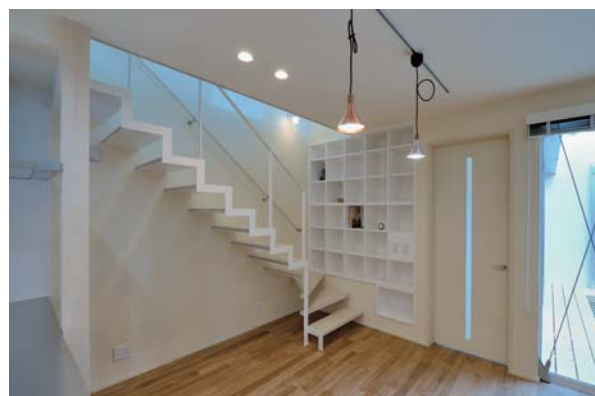
「ぬくもりのわが家」のスチール・トラス階段。事務所の定番的な階段で、構造的な美しさと軽やかなデザインが特徴です。南側に設置しても日照を妨げません。



「高野原の住宅」のリビングのストレート階段。フラットなスチールの側桁により支持され、安全に配慮しながら見た目もスッキリとシンプルにデザインされています。



「ツインリビングの家」のゴージャスなサーキュラー階段。手摺はロート・アイアン製で、この場のデザインとよくマッチしています。現場に合わせて階段専門メーカーと打合せをしながら製作しました。



「光庭のある家」のダイニングに解放されたスチール階段。シンプルに最小限の部材で構成されます。階段昇り口には壁埋込み本棚が設置され、お気に入りの本や小物がディスプレイされます。

■特集 "階段特集 Stairs"

>>1/100の世界 「春」

皆さんこんにちは！小野です。さて、久しぶりにコレクションが増えましたので紹介します。テラドメイキ今回は「春」と題しましてお花見でございます。秋田は開花ももう少し先ですかね。待ち遠しいです。話は変わりますが、春になると毎年小野は鳥に襲われます。この間は、鎌倉にいきまして名物豚まんを食べ歩きしてましたら、後ろから鷹に奪われました。せつかく並んでゲットしましたのに・・・(笑)そして秋田では、自転車に乗っていたら帽子を奪われるという災難(泣)みなさん頭上にはご注意ください！



>> マクロレンズ

こんにちは。菅原です。4月になり、消費税も8%となりましたね。3月中に思い切って買い物をたくさんした方も多いと思います。私はというと、ずっと買おうと思っていたマクロレンズを購入しました。安物ですけど。さて、今回は階段特集ということで、新品のレンズを使って撮影しました。1/50 模型の階段です。マクロレンズは被写体を大きく写せるレンズです。まだ仕組みがよく分かっていないので、思い通りには撮れていないのですが、とりあえず撮りまくって慣れたいと思います！ちなみに模型で作る階段は厳密なものではありません。イメージですので、ご理解ください。



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。4月になり、ようやく本当に春になった気分です。しかし、ほんの数日前、東北道の大衡～古川間・秋田道の北上西～横手間はかなりの吹雪でした。タイヤを交換するのはもう少し先にしておいた方がよさそうですね。  
2月の太平洋側の大雪も、かなり以前の事に思えますが、未だに建築業界に大きな影響を与え続けています。住宅設備機器の大きなメーカーの何社かが積雪による被害を受け、製品を出荷できない状況が続いているようです。それを補うべく、被害の無い他メーカーに受注が振り替えられたのですが、あまりの受注の多さにこちらもバンク状態。当社にも「当分の間キッチン受注はいたしません」というFAXが送られてきました。実は当社の現場でも、竣工直前でキッチンの納期が未定、という状況になりました。とはいえそのメーカーの代替品を取付け(新品ですよ！)後日交換という事で決着いたしました。二次的・三次的な被害まで含めると、やはり相当な被害だったのだと思います。  
今回の階段特集、いかがでしたでしょうか？こうして階段の写真だけを並べて見るのは初めてだったので、私もよい機会になりました。2階建て以上の場合、階段の位置や有り様がプランニングに大きく影響します。特に住宅の場合、階段の有り様がプランニングが決まる、と言っても言い過ぎではありません。単に階を昇り降りするものではなく、分断されがちな場を繋ぐ装置として設計したいものです。  
最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回もどうぞお楽しみに。